

各 支 部 長 様

草 加 市 剣 道 連 盟
会 長 増 田 吉 男

第 35 回 県民総合スポーツ大会 兼
第 77 回 国民体育大会剣道競技（成年女子）予選会
の実施について

このことについて、下記のとおり実施いたしますので、参加資格を確認の上申し込んでください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、変更する場合がありますので、御承知おきください。

なお、本大会は来る 10 月 1 日(土)～11 日(火)までの予定で栃木県にて開催されます。

記

- 1 実施日時 令和 4 年 5 月 21 日（土） 入場：9 時 00 分
受付：9 時 00 分～9 時 30 分
付き添い・見学者は入場できません。
- 2 実施場所 埼玉県立武道館 主道場
- 3 大会出場および運営にあたって
全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」
（令和 3 年 8 月 2 日付け）により実施しますので、ガイドラインを事前に
十分確認してください。
 - ① 選手並びに関係者は大会当日に検温し、確認票に記入する。
 - ② 武道館への入場は 1 階正面入口とし、入場時間は厳守すること。
 - ③ 道場入口にて入場時にアルコール消毒を行い、受付にて確認票を提出する。係員の指示に従うこと。
- 4 参加資格
成年女子（年齢基準は令和 4 年 4 月 1 日とする。）
選手構成の年齢制限は次のとおりとする。
【先鋒】 H4 年 4 月 2 日以降～H16 年 4 月 1 日までに生まれた者
【中堅】 S57 年 4 月 2 日以降～H4 年 4 月 1 日までに生まれた者

剣道用具の取り扱いについて

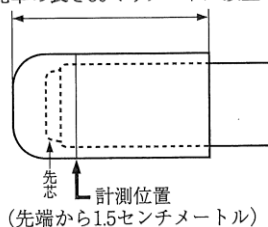
- (1) 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値及び先端より 8cm のちくとう部対角直径値）は、表と図のとおりとする。
ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更をしたものの使用は認めない。
- (2) 小手はこぶしと前腕（肘から手首の最長部）の 1/2 以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ふとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ふとん最長部と最短部の長さの差が 2.5cm 以内である。
- (3) 面ふとん部は安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (4) 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保する。（構えたときに肘関節が隠れること）

女子		一刀の場合	二刀の場合	
			大 刀	小 刀
	長さ	120 c m 以下	114 c m 以下	62 c m 以下
	重さ	440 g 以上	400 g 以上	250 ~ 280 g 以上
太さ	先端部最少直径	25m m 以上	24m m 以上	24m m 以上
	ちくとう最少直径	20m m 以上	19m m 以上	19m m 以上

図. 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最少直径値の計測方法>

先革の長さ50ミリメートル以上



<ちくとうの最少直径値の計測方法>

